

第6章 生活行動・意識

第1節 生活行動

1 生活時間

(起床時刻と就寝時刻)

○低年齢層は、早寝早起きになっている。(図表56)

図表56 起床時刻と就寝時刻

(1) 平均起床時刻(平日)

	平成18年(2006年)	平成23年(2011年)
10～14歳	6時44分	6時38分
15～19歳	7時01分	6時54分
20～24歳	7時53分	7時56分
25～29歳	7時20分	7時17分
小学生(10歳以上)	6時44分	6時38分
中学生	6時45分	6時41分
高校生	6時43分	6時36分
その他の在学者	7時59分	7時55分

(2) 平均就寝時刻(平日)

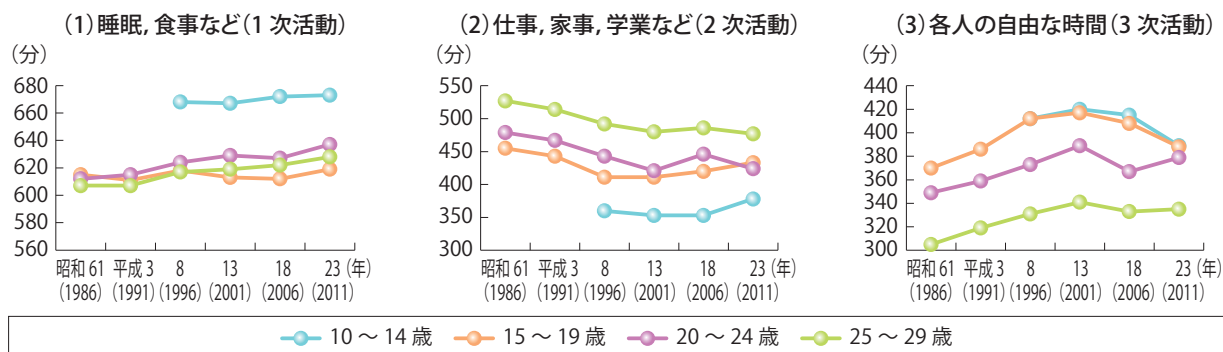
	平成18年(2006年)	平成23年(2011年)
10～14歳	22時30分	22時24分
15～19歳	23時58分	23時48分
20～24歳	0時31分	0時31分
25～29歳	0時05分	0時07分
小学生(10歳以上)	22時02分	21時57分
中学生	23時04分	22時55分
高校生	23時50分	23時42分
その他の在学者	0時47分	0時37分

(出典) 総務省「社会生活基本調査」

(睡眠や食事など(1次活動), 仕事や家事など(2次活動), 自由な時間(3次活動))

○睡眠や食事など(1次活動)の時間が増加。自由な時間(3次活動)は10代で減少。(図表57)

図表57 1次活動, 2次活動, 3次活動時間



(出典) 総務省「社会生活基本調査」

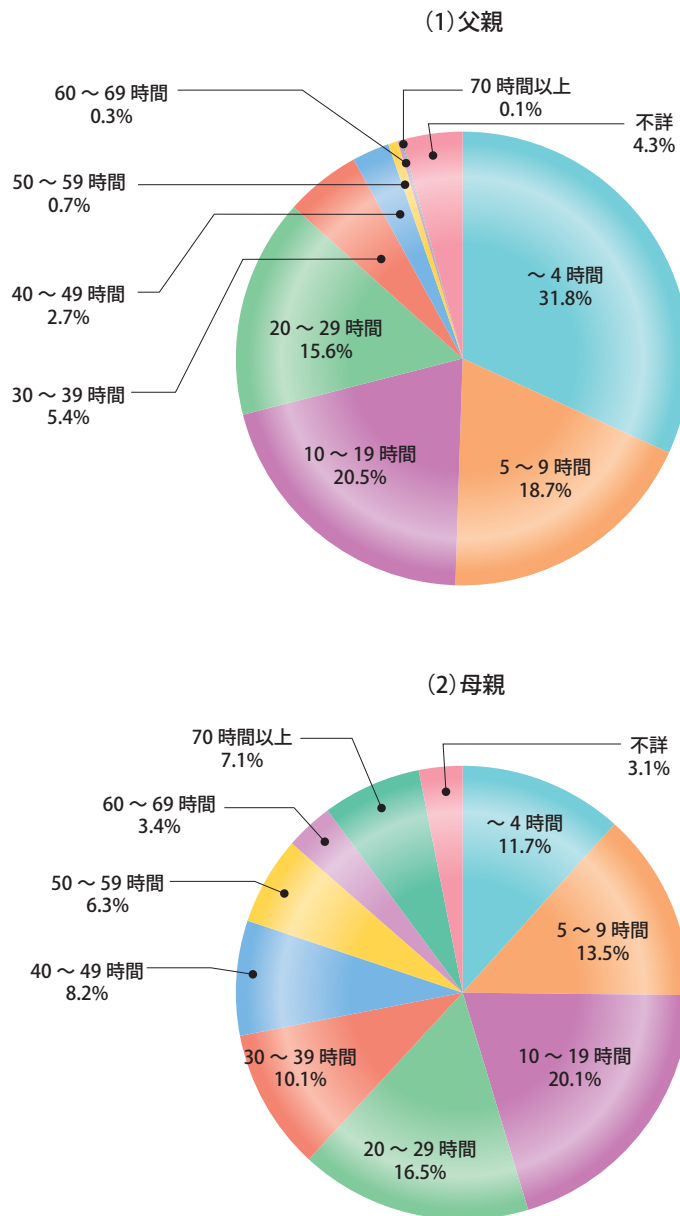
(注) 睡眠や食事など生理的に必要な活動を1次活動、仕事や家事、学業など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動を2次活動、それら以外で各人が自由に使える時間における活動を3次活動という。

2 行動

(親とのかかわり)

○1週間の会話時間が父親とは5時間に満たない子供が、母親とは10～19時間程度の子供が最も多い。(図表58)

図表58 父母と子供たちとの会話時間（1週間当たり）（平成21年）

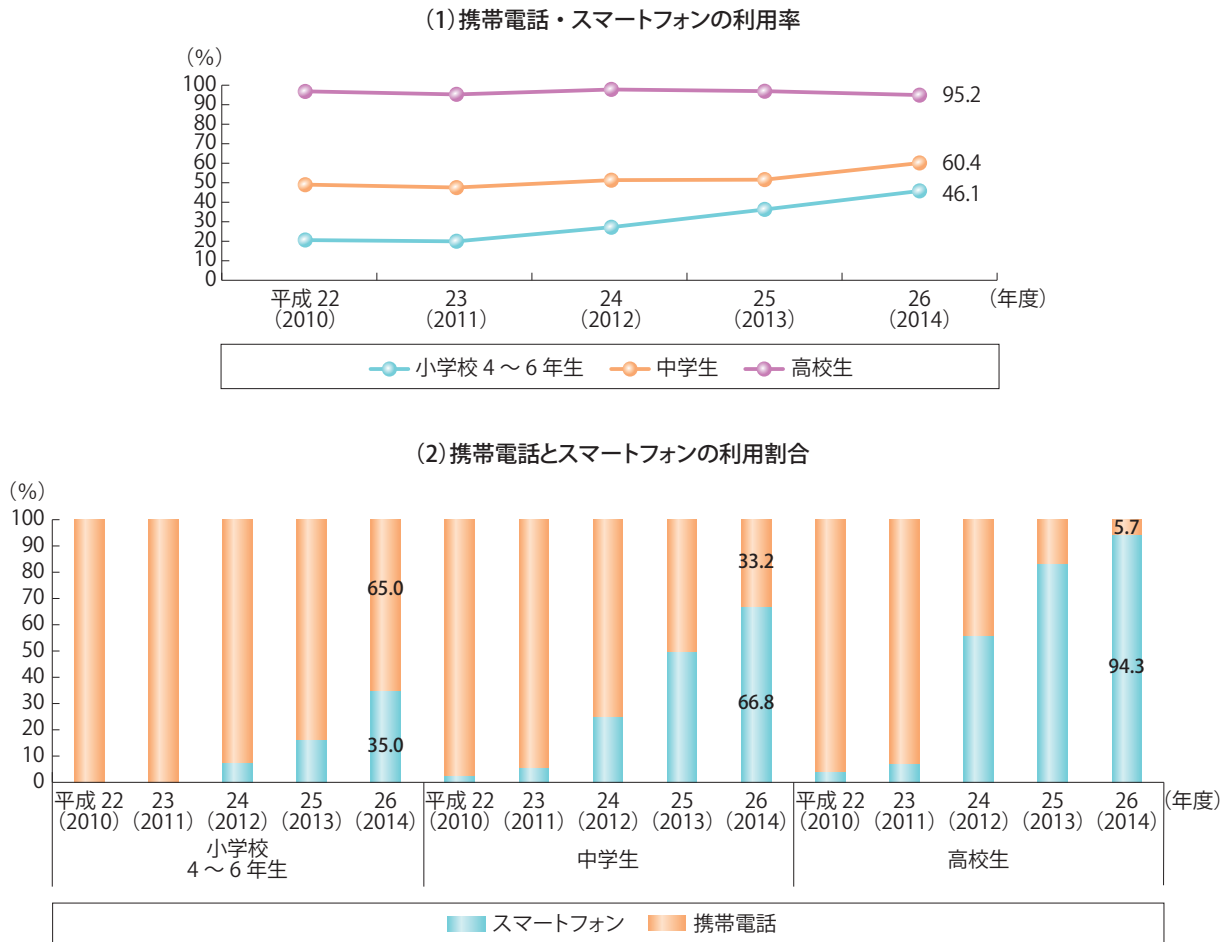


(出典) 厚生労働省「全国家庭児童調査」

(携帯電話・スマートフォンやインターネットの利用)

○高校生の9割以上が携帯電話・スマートフォンを利用しており，うち9割以上はスマートフォンを利用。(図表59)

図表 59 携帯電話・スマートフォンの利用状況



(出典) 内閣府「青少年のインターネット利用環境実態調査」
 (注) (1) は携帯電話かスマートフォンのいずれかを使用している者の割合

第2節 意識

1 幸せ感, 不安や悩み

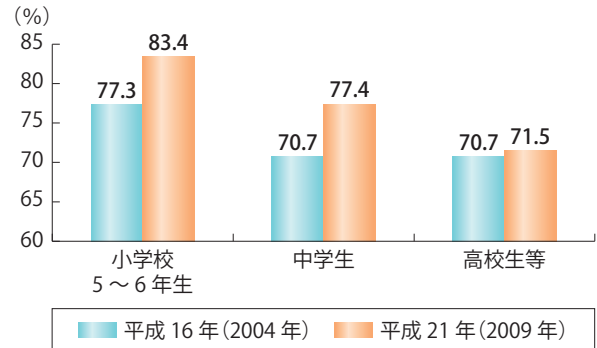
(幸せ感)

○幸せだと思う小学生・中学生・高校生等の割合は上昇。(図表60)

(不安や悩み)

○不安や悩みを抱えている小学生・中学生・高校生等の割合も上昇。不安や悩みの主な内容は勉強や進路。(図表61)

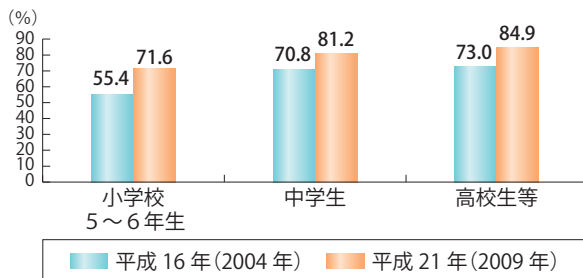
図表60 幸せ感



(出典) 厚生労働省「全国家庭児童調査」
 (注) 1. 高校生等とは、高校生と、各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒の合計。
 2. ここでいう幸せだと思う者とは、「今、幸せだと思うか」との問いに対し「とても幸せだと思う」「やや幸せだと思う」と回答した者の合計。

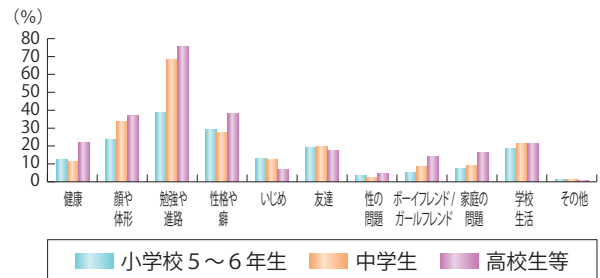
図表61 不安や悩み

(1) 不安や悩みを抱えている者の割合



(出典) 厚生労働省「全国家庭児童調査」
 (注) 高校生等とは、高校生と、各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒の合計。

(2) 不安や悩みの内訳(平成21年複数回答)



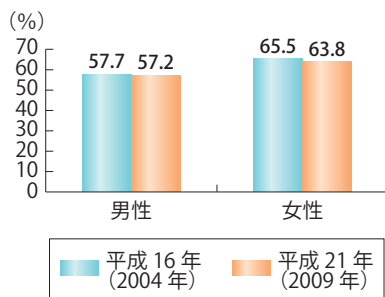
2 結婚の意思, ライフコース

(結婚の意思)

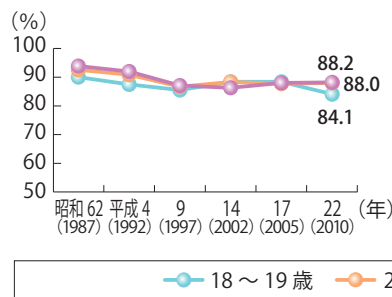
○結婚する意思を持つ未婚者は9割前後で推移。(図表62)

図表62 結婚の意志のある者の割合

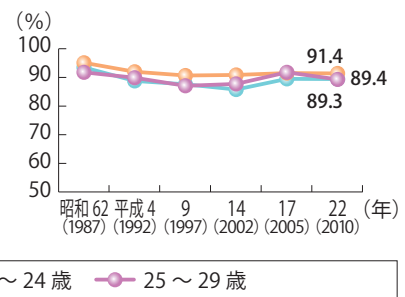
(1) 中学生・高校生



(2) 18歳以上(男性)



(3) 18歳以上(女性)



(出典) 厚生労働省「全国家庭児童調査」, 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査(独身者調査)」
 (注) 1. (1)のグラフは、「将来、結婚をしたいと思っているか」との問いに対し「結婚はしたい」「結婚はしたくない」「まだわからない」の中から「結婚はしたい」を選んだ、中学生、高校生、各種学校・専修学校・職業訓練校の生徒の割合。
 2. (2)と(3)のグラフは、「いずれ結婚するつもり」「一生結婚するつもりはない」「不詳」のうち「いずれ結婚するつもり」が選択された割合。